

高校百校新設計画

15
の
春
を
泣
か
せ
な
い



弥栄東高校と弥栄西高校(相模原市中央区:昭和59年度開校)
県立高校改革推進計画等に基づき、両校は再編・統合され、
現在は、相模原弥栄高校となっています。

15年間で100校を新設

「高校百校新設計画」は、昭和40年代後半からの中学校卒業者の増加と長期的な高校進学率の上昇を背景に、「意欲と希望のある子供たちに、できるだけ多くの進学のを確保してあげたい」との願いから昭和48(1973)年にスタートしました。

そして、昭和62(1987)年4月に最後の5校が開校し、100校すべてが開校しました。

学校数のピークである平成初期に、166校あった県立高校は、その後の再編・統合により、現在は133校となりましたが、当時、建てられた校舎は、今日に至るまで、耐震・老朽化対策工事、トイレ環境改善のための改修工事、空調設備の整備工事などを行いながら、大事に使われています。

今後は、未来の子供たちのため、これから耐用年数を迎えることとなる校舎の建替えを柱とする新たな学校施設再整備計画の策定に向け、取組を進めていきます。



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ